

安全上のご注意

- 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しく使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について

地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

△危険

- 送信中、またはチューニング中は絶対にアンテナに触れないでください。また、容易に人が触れる場所には絶対に設置しないでください。感電、けが、故障の原因になります。
- 引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。火災、爆発の原因になります。

△警告

- 分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに接続している無線機の電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社HFサポートセンター i USE (アイユーズ) お問い合わせください。
- 雷が鳴り出したら、機器やアンテナ線、接続している無線機のDC電源ケーブル、外部電源装置の電源ケーブルには、絶対に触れないでください。また、アンテナには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

△注意

- アンテナを接続せずに送信しないでください。火災、故障の原因になることがあります。
- 電気・電子機器の近くに設置しないでください。テレビやラジオなどに受信障害を与えたり、プレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。
- 屋上やベランダ(人が出入りするところなど)にアンテナやアンテナチューナーを設置する場合は、その高さが人の歩行、その他起居する平面から2.5m以上はなして設置してください。(電波法施行規則 第3節 安全施設 第22条、第26条参照) けが、感電、故障の原因になることがあります。
- 接続している無線機と本製品(アンテナを含む)は、できるだけはなして設置してください。ノイズや電波障害を受ける原因になることがあります。
- 清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、アンテナ直下型、防水設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。

ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

本製品の概要について

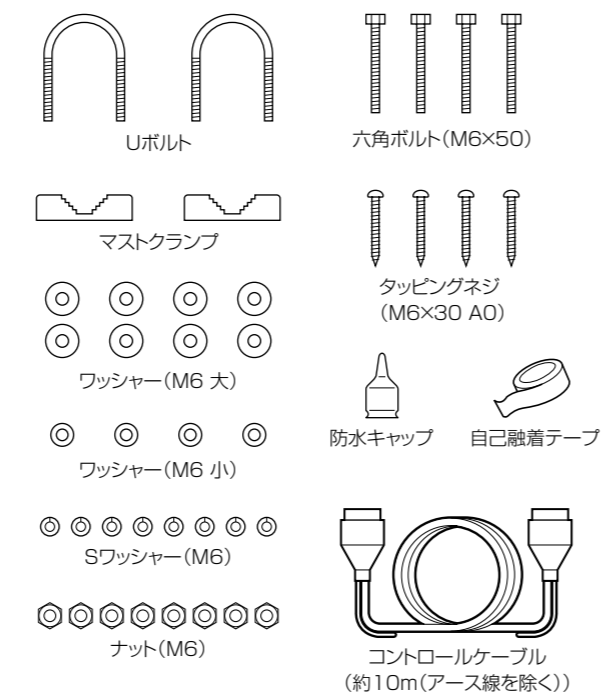
- 広範囲のチューニングレンジ
7m以上のロングワイヤーで1.8MHz～50MHz帯の広い周波数範囲をすばやく、マッチング(整合)が取れます。
- メモリー機能
マッチング状態を最大45波、記憶します。カウンターを内蔵したことにより、同一周波数で運用する場合は、約1秒でチューニングを取ります。
- 不要電力低減機能
チューニング動作時、アンテナエレメントから放射する電力を約0.3Wに抑え、他局への妨害を極力少なくしています。
- 防水機構(防水保護等級IPX4)
IPX4(防まつ形)の性能に対応できるよう設計されています。成形防水・耐候・塩害防止構造になっているので、アンテナ・マスト、壁などの屋外で使用できます。

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分で「X」で表記します。

本書で記載する保護の程度について
IPX4(防まつ形)：いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

付属品



※同軸ケーブルは、付属していません。市販の同軸ケーブルをご用意ください。

設置のしかた

ご注意

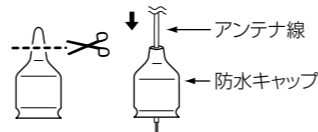
- 本製品のアースは、必ずGND端子から接地してください。本製品のマストクランプは、GND端子とは接続されていませんので、アース端子として使用しないでください。(下記参照)
- 無線機本体と本製品(アンテナを含む)をできるだけはなして設置してください。
- コントロールケーブルや同軸ケーブルの余った束を、無線機本体、または本製品のすぐ近くに置かないでください。
- マイクロホン、およびマイクコードをコントロールケーブルや同軸ケーブルに近づけないでください。
- 本製品のアンテナコネクタを無負荷状態(アンテナを接続していない状態)では絶対に送信しないでください。
- コントロールケーブルや同軸ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。また、コントロールケーブルや同軸ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
- 高所設置のときなど、本製品に接続されたコントロールケーブルや同軸ケーブルが強く引っ張られる状態や、本製品からぶら下げた状態にしないでください。

■ アンテナコネクタの防水処理

ご注意

以下の手順を守らないと、コネクタ内に水分が入り込み、本製品が破損する原因になることがあります。

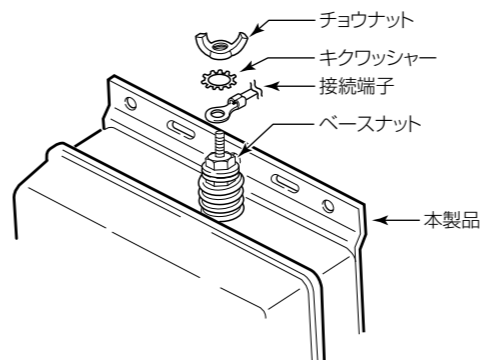
1. 防水キャップの上部だけを切り取り、アンテナ線を防水キャップの中に通します。



2. アンテナ線を圧着端子の開口部に挿入します。
※アンテナ線を圧着、またははんだ付けしてください。



3. アンテナコネクタに、接続端子、キクワッシャーの順に入れたら、チョウナットを手で締まる程度まで締めつけます。
※チョウナットを締めつける前に、ベースナットがゆるんでいないことを確認してください。
※チョウナットを締めたあと、接続端子を上向きに曲げてください。(1)



■ 接地(アース)のご注意

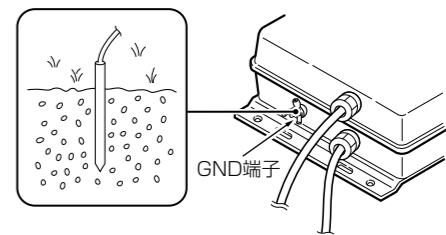
本製品のアースが不完全な場合、回り込み、チューニングが取れない、または取ったあとにSWRが悪くなる、無線機本体が故障するなどの現象が発生することがあります。

○ 接地のしかた

- 大地へのアース(アース棒による接地)、またはカウンターポイズなどがあります。
- カウンターポイズとは
アースの代用として、張る保安線(ラジアル)のことです。ラジアルはワイヤーアンテナと同様に、7m以上を大地にはうように張ってください。

○ 大地への接地例

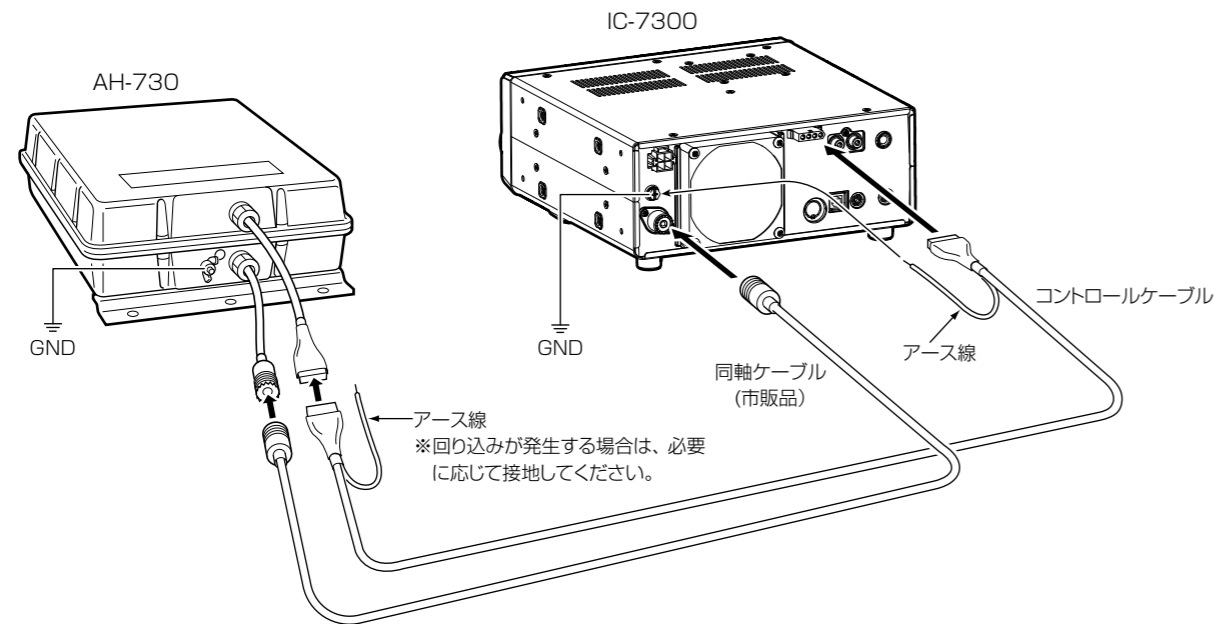
- ※必ずGND端子からアースを取ってください。



設置のしかた

■ 無線機との接続

下図のように無線機と本製品を接続します。(例: IC-7300)

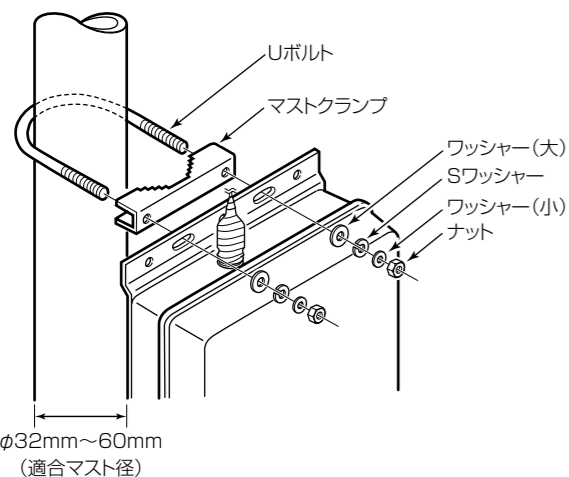


■ 本製品の設置

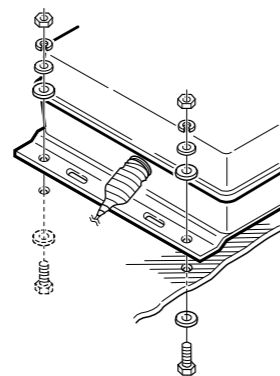
ご注意

アンテナ端子を上にして、水平または垂直に取り付けてください。

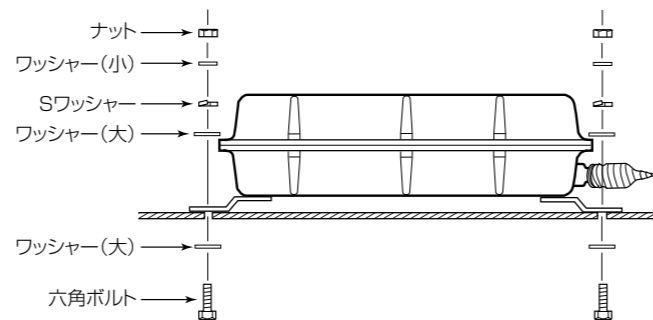
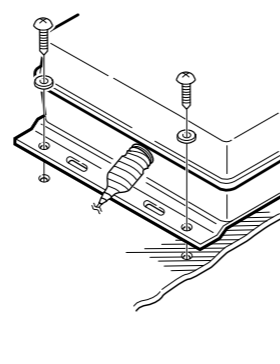
Uボルトの場合



六角ボルトの場合



タッピングネジの場合

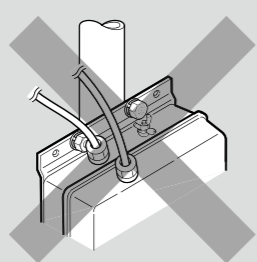


△危険

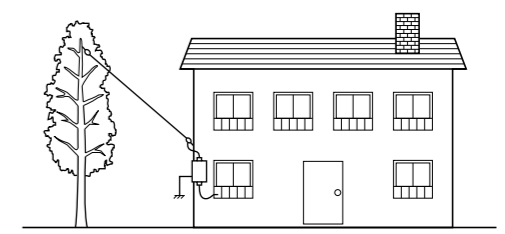
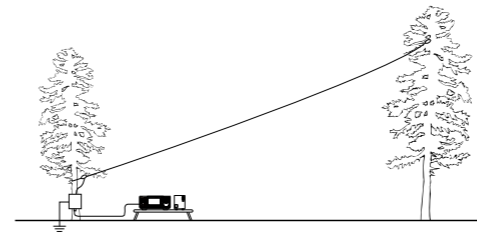
振動や衝撃で本製品が落下しないように、付属のナットとボルトで確実に取り付けてください。
けが、故障の原因になります。

ご注意

本製品に接続されている同軸ケーブルやコントロールケーブルが下を向くように取り付けてください。
※右図のような向きに取り付けると、浸水の原因になることがあります。



■ 運用例



ご注意

- 無線機と本製品は、できるだけはなして設置してください。
- ループ状の接続は、アンテナ端子をショートして送信するような動作となるため、保証対象外です。

操作方法

操作例(IC-7300の場合)

1. IC-7300の電源を入れます。
2. IC-7300を希望の運用周波数に設定します。
3. **TUNER**を短く押します。
 - ・自動的に送信状態になり、チューニングを開始します。
 - ・チューニング中は、運用モードに関係なくサイドトーンが聞こえ、「TUNE」表示が赤く点滅します。
4. チューニングが取れると、「TUNE」表示が点灯に変わり、チューナーがONになります。
 - ・チューニングが取れない(SWRが2.0以下にならない)ときは、「TUNE」表示が消灯して、アンテナチューナーを自動的に通さない状態(OFF:スルー)になります。
5. 「TUNE」表示が点灯した状態で、チューニングを取りなおす場合は、**TUNER**を長く(約1秒)押します。
6. OFF状態(スルー)にするときは、**TUNER**を短く押します。
 - ・「TUNE」表示が消灯します。

※本製品を接続すると、無線機の内蔵アンテナチューナーは、自動でOFF(スルー)になります。

※IC-7300以外の操作は、ご使用になる無線機の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- チューニングが取れない場合は、アンテナエレメントの長さ、および接続などを点検してください。
また、周波数の1/2波長、およびその整数倍のアンテナエレメントに対しては、マッチングは取れないのでご注意ください。
- 無線機とアンテナとのマッチングを正確に取るために、運用周波数を変えたときは必ずアンテナとのチューニングを取ってください。
- 10W機をご使用の場合は、送信出力をハイパワー(10W)に設定してください。

別売品

OPC-1465: コントロールケーブル(約10m)

別売品についてのご注意

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。
弊社指定以外の別売品とご使用が原因で生じる無線機の破損、故障、または動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

定格

周波数範囲: 1.8~54MHz

※7m以上のワイヤーアンテナ使用時、およびGNDの大地接地、または7m以上のワイヤーを大地にはわせたとき

最大定格入力電力: 150W

入力インピーダンス: 50Ω

チューン時パワー: 10W(5~15W)

チューニング時間: 平均2~3秒(最大15秒)

定格電圧: DC13.8V±15%

定格電流: 0.7A以下

使用温度範囲: -10~+60℃

整合時VSWR: 1:2.0以下(ただし、アンテナエレメント長が1/2波長、およびその整数倍付近の周波数を除く)

メモリーチャンネル数: 45ch

外形寸法: 230(W)×80(H)×340(D)mm (突起物を含まず)

重量: 2.5kg

本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

登録商標/著作権

アイコム株式会社、アイコム、Icom Inc.、アイコムロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

A7673W-1J Printed in Japan © 2021 Icom Inc.